

令和6年3月25日

東京都立北特別支援学校

住所 東京都北区十条台1-1-1

電話 03 (3906) 2321

進路指導部

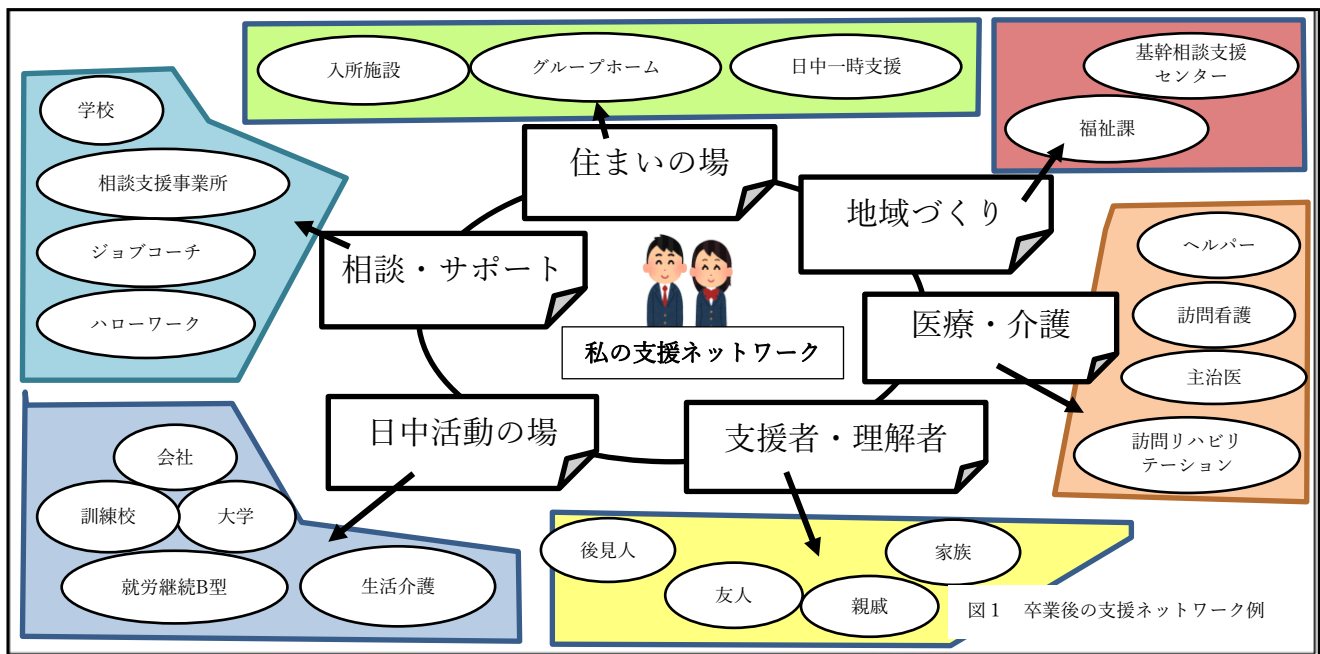
進路かわら版

日頃より本校の教育活動に御理解いただきまして、感謝申し上げます。
前号の進路かわら版では、企業就労・大学進学の見学について紹介しました。
今回は、高等部3年生の移行支援について、「内定通知授与式」の様子をお伝えいたします。

☆ 高等部3年生の移行支援について（学校から地域へ）

高等部を卒業すると、地域社会で生活する（自宅から生活介護事業所に通う、グループホームから会社やB型事業所に通う等）社会人になります。高等部の3年間（進路かわら版1月号）で進路先を決めるだけでなく、これまでの支援ネットワークを再構築することも重要となります。

高等部3年生の2・3学期には、学校から進路先へスムーズに支援が移行できるように「移行支援会議」を行います。生徒や保護者の方々が、進路先や地域での過ごし方、また将来の生活の希望などを、学校、進路先、就労・福祉関係機関とともに話し合い、卒業後の支援のネットワークを作っていくことを目的としています。卒業後、学校はアフターケア（事業所・会社訪問など、3年間実施）という形で、進路先での困りごとの相談やサポートを行います。主には、進路指導コーディネーター等が進路相談として事業所を巡回します。図1にもあるように、卒業後は、学校は支援機関の一部となりますが、学校以外の支援ネットワークがとても重要となります。将来の生活のプラン（どのような生活がしたいか）を明確にし、支援のネットワークに相談又は活用しながら“地域”での生活を充実させていってください。



☆ 内定通知授与式（高等部3年生）

昨年度より、生徒達が卒業後の新しい生活にスムーズに移行していくことや決意表明を兼ねて内定通知授与式を行っています。校長先生から通知書もらうことで社会人になることへの意識を高めることができました。決意表明の場面では、自分の将来についての思いを堂々と発表しました。これから新しい世界に羽ばたいていく生徒達の様子を御覧ください。



☆ 最後に

一年間、卒業後の生活に関わる福祉サービスを中心に『わかりやすく』皆様にお伝えしてきました。次年度も、進路かわら版を通じて、基礎基本の知識から、地域の最新情報をお伝えしていきます。